

【目的と概要】

JSTは、**革新的な情報通信技術の創出**と**研究人材育成**に取り組み、**我が国の情報通信技術の強化**を目指す新規のファンディングプログラムとして「**戦略的創造研究推進事業『情報通信科学・イノベーション基盤創出（CRONOS）』**」を、令和6年度より開始しています。

CRONOSは、情報通信科学の常識を変えるビジョンがあり、社会問題への大きなインパクトをもたらす挑戦的な目標としての「**グランドチャレンジ**」を設定し、その実現に向けた新たな発想を募集し、研究開発を推進します。

【運用スキーム】

CRONOSの研究開発課題は、**基礎研究を中心とする「基盤研究」と 応用への橋渡しを目指す「移行研究」**から構成されます。情報通信科学における研究開発の特徴を踏まえ、基礎研究と応用研究の垣根を越える運用スキームを取り入れることで、社会変革につながる基盤研究とその成果の概念実証（POC：Proof of Concept）等に取り組みます。

移行研究の実施過程で、基礎研究フェーズで検討すべき事項が出てきた場合は、基盤研究における研究開発計画を見直すなど、**基礎研究と応用研究を行き来することでスパイラルアップ**を目指します。

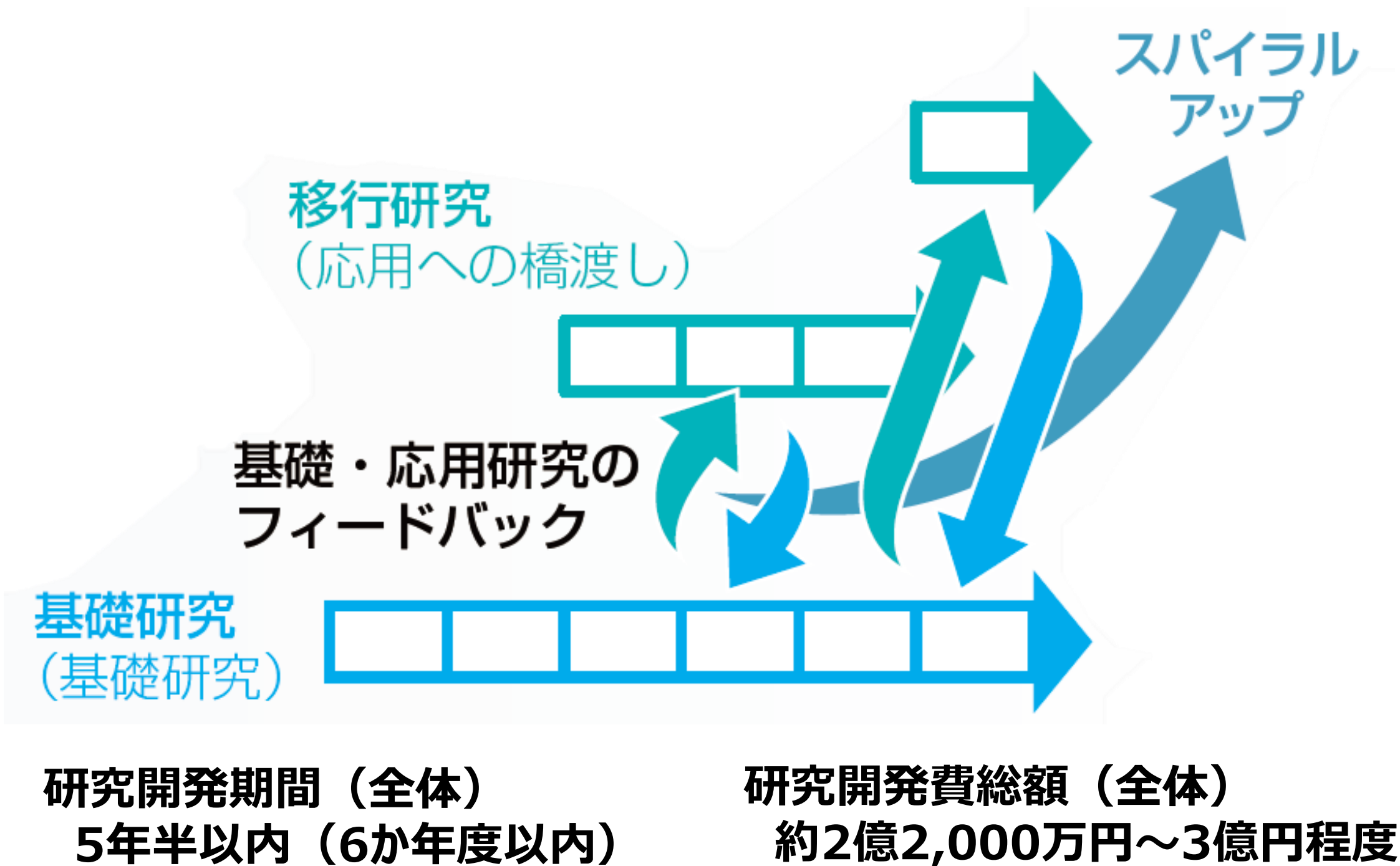
また、**プログラム運用にあたっては、情報通信技術の研究開発を推進する情報通信研究機構（NICT）等との連携を図ります。**

【基盤研究】

- ・基盤研究では、グランドチャレンジ達成に向け、国際的にもトップレベルの技術ブレークスルーを起こす成果創出や高度研究人材の育成を推進します。

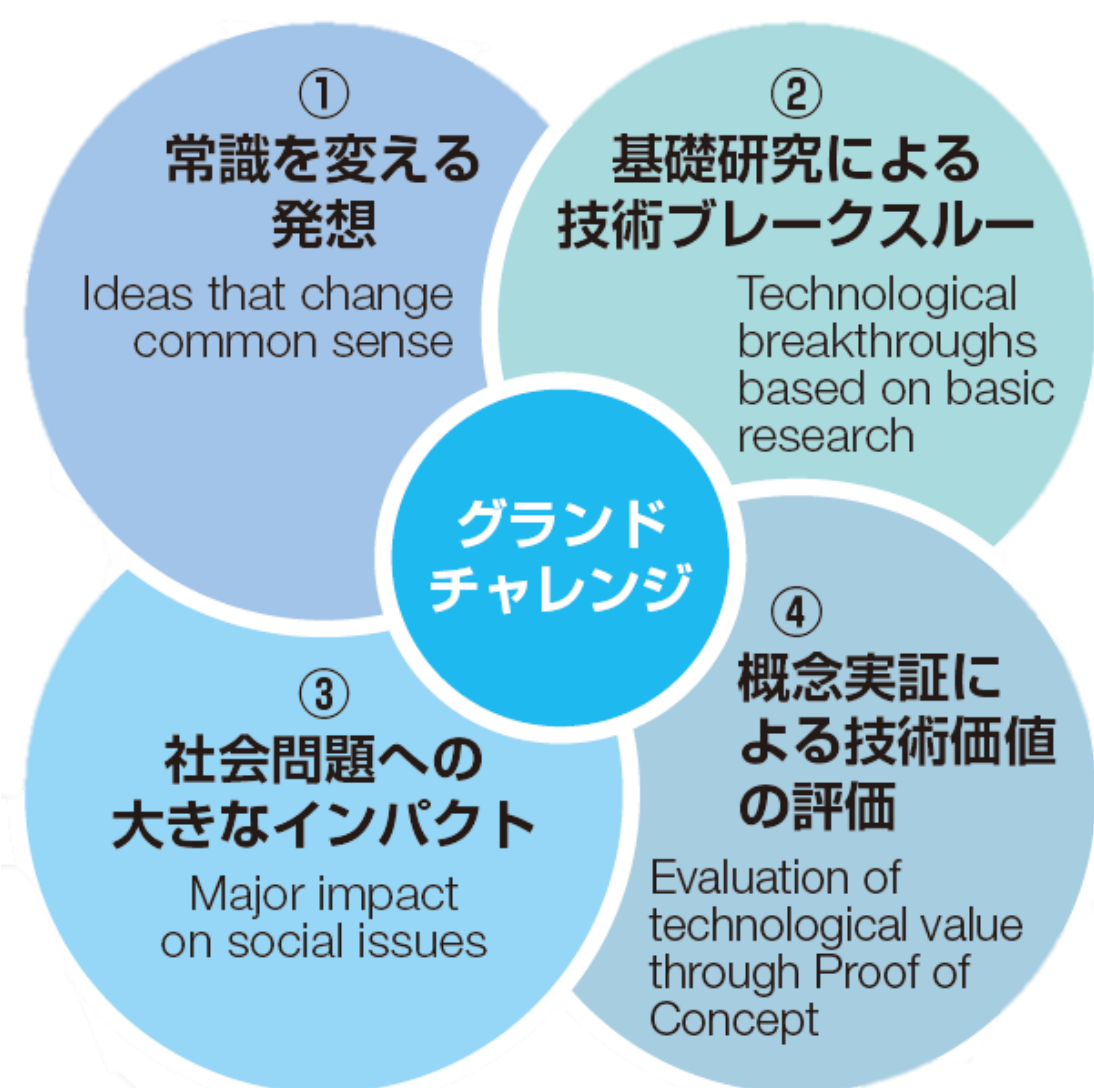
【移行研究】

- ・基盤研究期間内において、採択された研究開発代表者が、別途、PO等に対して概念実証（POC）のための具体的な計画を提案し、プログラム内審査を経て認められたものに対して、追加経費措置を行い、実施します。
- ・**テストベッドでの実証試験**、基礎理論に基づくソフトウェア化、実データを用いた理論検証などを実施します。
- ・終了時には、**総務省・NICT事業等への橋渡し**や、大学発ベンチャー創出の促進など、企業等主体の研究につなげられるような成果創出を目指します。

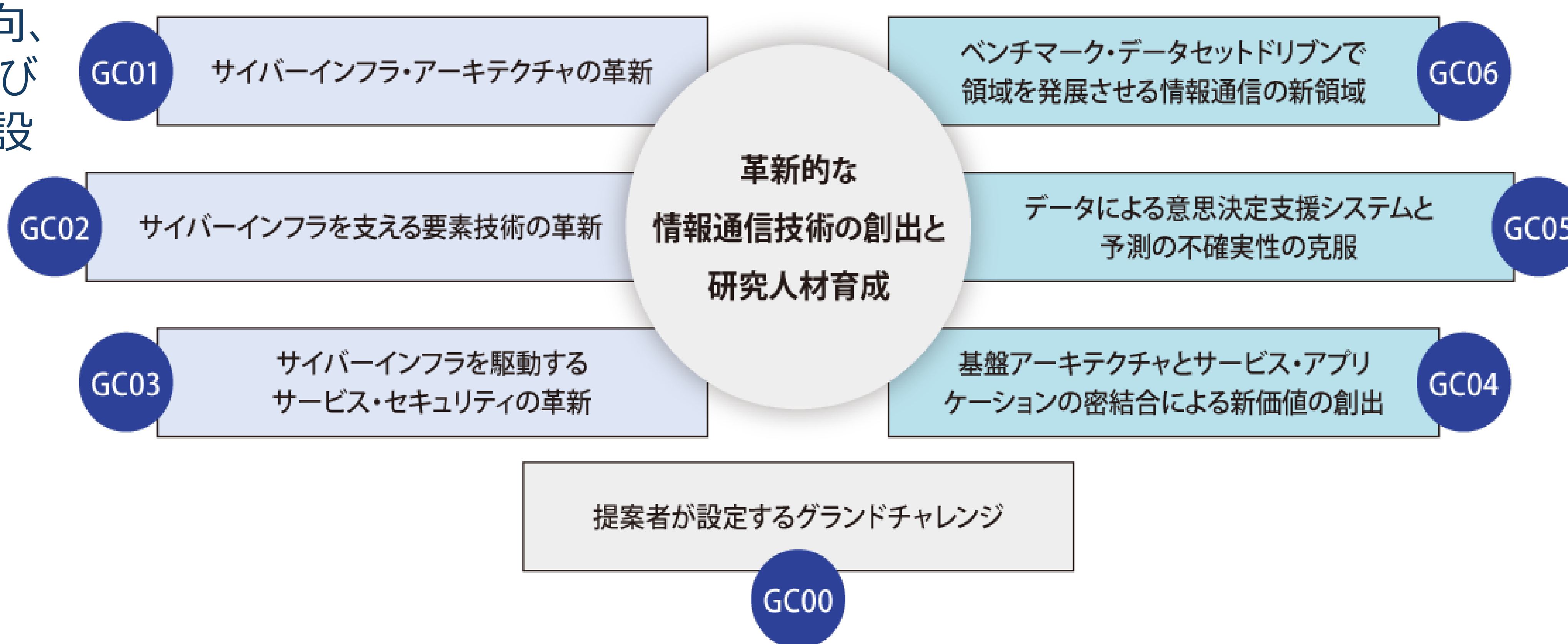


【グランドチャレンジ】

これまでの常識にとらわれない挑戦的な研究開発を推進すべく、研究開発動向、産業動向、社会ニーズ等を踏まえ、プログラム関係者および外部有識者等との検討・議論をもとにJSTが設定します。

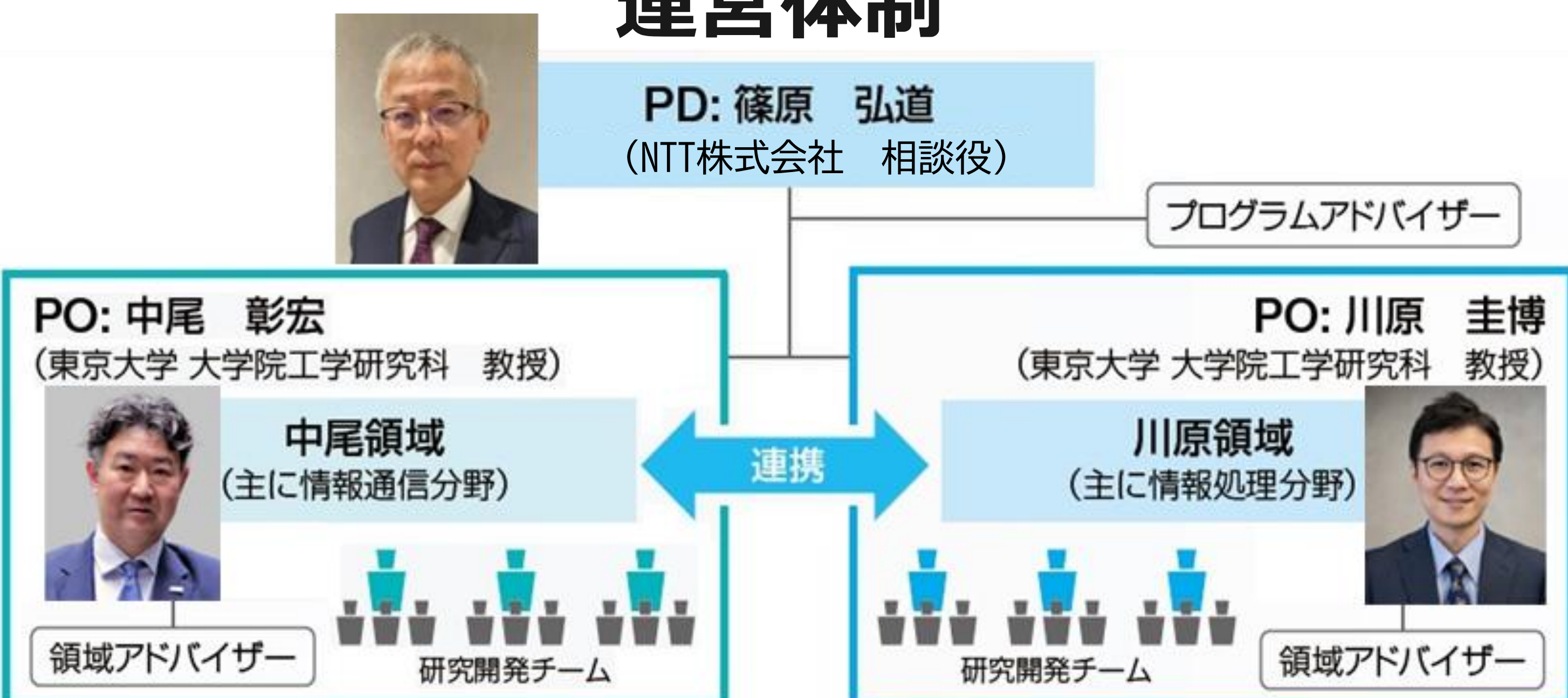


2026年度募集におけるグランドチャレンジ



【研究体制】

運営体制



【HPおよび2026年度募集情報など】

募集説明会
事前登録
QRコード



募集
説明会

オンライン開催 (zoomウェビナー)
日時：2026年4月3日 (金) 13:30～
※詳細は公募HPをご覧ください

公募HP
QRコード



公募HP：
<https://www.jst.go.jp/kisoken/cronos/koubo/2026/index.html>
最新情報はXにて更新！ (@jst_mirai)

連絡先：JST未来創造研究開発推進部 (cronos@jst.go.jp)